


登録販売者研修開催届出書

平成24年3月26日付 薬食総発0326第1号「登録販売者に対する研修の実施について」に基づき、「登録販売者の資質向上のための外部研修に関するガイドライン」に則る外部研修の開催を届出致します。

平成 31 年 4 月 吉 日

研修機関	名称 代表者名	一般社団法人 イオン・ハピコム人材総合研修機構 代表理事 澤 宏紀			
連絡先	住所	〒261-8515 千葉県千葉市美浜区中瀬 1丁目 5番地 1			
	電話	043-212-6718	FAX	043-212-6617	
	Eメール	ML_ah_or@aeonpeople.biz			
	実施責任者	事務局長 鈴木 裕章			

【 集合研修 】 詳細はホームページにて開示

研修名	登録販売者 実務者研修				
実施日程 及び会場	2019年10月24日(木)	姫路商工会議所 〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43 TEL:079-222-6001			
	2019年10月25日(金)	姫路商工会議所 〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43 TEL:079-222-6001			
	2020年2月27日(木)	姫路商工会議所 〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43 TEL:079-222-6001			
	2020年2月28日(金)	姫路商工会議所 〒670-8505 兵庫県姫路市下寺町43 TEL:079-222-6001			
実施時間	9時45分～17時までの6時間（昼食休憩1時間）				
募集受講者数	1会場 100名				
講義形式	集合研修（座学と症例を用いた情報提供グループワーク）				
受講料	3,704円（税別）				

【 eラーニング研修 】 詳細はホームページにて開示

研修名	登録販売者 ステップアップ講座				
実施期間	4月1日から翌年3月31日までの1年間				
研修時間	1年間で6時間以上				
受講料	2,778円（税別）				

*ネット環境の無い受講者については、各事業者の店舗・本部の環境を使用して受講することの提案とスマートフォンを利用したの受講を提案する。



集合研修 内容詳細

テーマ	2019年10月24日(木) 「目薬」「胃薬」に関わる知識と症例検討																																											
	2019年10月25日(金) 「目薬」「胃薬」に関わる知識と症例検討																																											
	2020年2月27日(木) 「目薬」「口腔用薬」に関わる知識と症例検討																																											
	2020年2月28日(金) 「目薬」「口腔用薬」に関わる知識と症例検討																																											
研修目的	<table border="1"> <tr><th>研修名</th><th>一般目標</th></tr> <tr><td rowspan="6">●知識研修</td><td>登録販売者が、一般用医薬品を販売するために必要な病態・一般用医薬品に関する知識・技能を修得する。</td></tr> <tr><td>行動目標</td></tr> <tr><td>①一般用医薬品を販売する上で必要な法規と制度を説明することができる(知識) (ガイドライン④⑦)</td></tr> <tr><td>②添付文書に書かれている専門用語について説明できる(知識) (ガイドライン①)</td></tr> <tr><td>③一般用医薬品に配合される代表的な成分と作用について説明できる(技能) (ガイドライン③⑤)</td></tr> <tr><td>④各症例の症状と原因について概説できる。(知識) (ガイドライン②③)</td></tr> <tr><td>⑤適切な情報提供を行い、最適な一般用医薬品を選択し販売できる(技能) (ガイドライン⑤)</td></tr> <tr><td>⑥適切なケアを行うための受診勧奨を行う重要性を説明できる(知識) (ガイドライン⑤)</td></tr> <tr><th>研修名</th><th>一般目標</th></tr> <tr><td rowspan="6">●応対研修</td><td>登録販売者が、最適な一般用医薬品を選定するための応対技能・態度を修得する。</td></tr> <tr><td>行動目標</td></tr> <tr><td>①症状・訴えを理解するために傾聴、共感の重要性を理解する(態度) (ガイドライン②)</td></tr> <tr><td>②応対の流れにおいて必要な5つのチェック項目を踏まえる(技能) (ガイドライン⑤)</td></tr> <tr><td>③症状を把握し、最適な一般用医薬品を選択する(技能) (ガイドライン③⑤)</td></tr> <tr><td>④情報提供は、分かりやすい言葉で行う(態度) (ガイドライン⑤⑦)</td></tr> </table>	研修名	一般目標	●知識研修	登録販売者が、一般用医薬品を販売するために必要な病態・一般用医薬品に関する知識・技能を修得する。	行動目標	①一般用医薬品を販売する上で必要な法規と制度を説明することができる(知識) (ガイドライン④⑦)	②添付文書に書かれている専門用語について説明できる(知識) (ガイドライン①)	③一般用医薬品に配合される代表的な成分と作用について説明できる(技能) (ガイドライン③⑤)	④各症例の症状と原因について概説できる。(知識) (ガイドライン②③)	⑤適切な情報提供を行い、最適な一般用医薬品を選択し販売できる(技能) (ガイドライン⑤)	⑥適切なケアを行うための受診勧奨を行う重要性を説明できる(知識) (ガイドライン⑤)	研修名	一般目標	●応対研修	登録販売者が、最適な一般用医薬品を選定するための応対技能・態度を修得する。	行動目標	①症状・訴えを理解するために傾聴、共感の重要性を理解する(態度) (ガイドライン②)	②応対の流れにおいて必要な5つのチェック項目を踏まえる(技能) (ガイドライン⑤)	③症状を把握し、最適な一般用医薬品を選択する(技能) (ガイドライン③⑤)	④情報提供は、分かりやすい言葉で行う(態度) (ガイドライン⑤⑦)																							
	研修名	一般目標																																										
●知識研修	登録販売者が、一般用医薬品を販売するために必要な病態・一般用医薬品に関する知識・技能を修得する。																																											
	行動目標																																											
	①一般用医薬品を販売する上で必要な法規と制度を説明することができる(知識) (ガイドライン④⑦)																																											
	②添付文書に書かれている専門用語について説明できる(知識) (ガイドライン①)																																											
	③一般用医薬品に配合される代表的な成分と作用について説明できる(技能) (ガイドライン③⑤)																																											
	④各症例の症状と原因について概説できる。(知識) (ガイドライン②③)																																											
⑤適切な情報提供を行い、最適な一般用医薬品を選択し販売できる(技能) (ガイドライン⑤)																																												
⑥適切なケアを行うための受診勧奨を行う重要性を説明できる(知識) (ガイドライン⑤)																																												
研修名	一般目標																																											
●応対研修	登録販売者が、最適な一般用医薬品を選定するための応対技能・態度を修得する。																																											
	行動目標																																											
	①症状・訴えを理解するために傾聴、共感の重要性を理解する(態度) (ガイドライン②)																																											
	②応対の流れにおいて必要な5つのチェック項目を踏まえる(技能) (ガイドライン⑤)																																											
	③症状を把握し、最適な一般用医薬品を選択する(技能) (ガイドライン③⑤)																																											
	④情報提供は、分かりやすい言葉で行う(態度) (ガイドライン⑤⑦)																																											
内容と時間	<table border="1"> <thead> <tr><th colspan="3">実務者 研修タイムスケジュール</th></tr> <tr><th>時間</th><th>研修内容</th><th></th></tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">10</td><td>9:45</td><td rowspan="2">事務局連絡【9:45～9:55】 10分</td></tr> <tr><td>9:55</td></tr> <tr><td rowspan="2">11</td><td>10:15</td><td rowspan="2">医薬品の適正使用・安全対策 20分</td></tr> <tr><td>11:40</td></tr> <tr><td rowspan="3">12</td><td>11:40</td><td rowspan="3">症状別 講義1 【10:15～11:40】 85分</td></tr> <tr><td>11:55</td><td>質疑応答【11:40～11:55】 15分</td></tr> <tr><td>12:05</td><td>確認テスト 10分</td></tr> <tr><td rowspan="2">13</td><td>13:05</td><td>症状別 ケーススタディ1 【12:05～13:05】 60分</td></tr> <tr><td></td><td>昼食 【13:05～14:05】</td></tr> <tr><td rowspan="2">14</td><td>14:05</td><td rowspan="2">症状別 講義2 【14:05～15:30】 85分</td></tr> <tr><td>15:30</td></tr> <tr><td rowspan="3">15</td><td>15:30</td><td rowspan="3">質疑応答【15:30～15:45】 15分</td></tr> <tr><td>15:45</td><td>確認テスト 10分</td></tr> <tr><td>15:55</td></tr> <tr><td rowspan="2">16</td><td>16:55</td><td rowspan="2">症状別 ケーススタディ2 【15:55～16:55】 60分</td></tr> <tr><td>17:00</td></tr> <tr><td></td><td>自己評価・アンケート記入・修了証配布【16:56～17:00】 5分</td></tr> </tbody> </table>		実務者 研修タイムスケジュール			時間	研修内容		10	9:45	事務局連絡【9:45～9:55】 10分	9:55	11	10:15	医薬品の適正使用・安全対策 20分	11:40	12	11:40	症状別 講義1 【10:15～11:40】 85分	11:55	質疑応答【11:40～11:55】 15分	12:05	確認テスト 10分	13	13:05	症状別 ケーススタディ1 【12:05～13:05】 60分		昼食 【13:05～14:05】	14	14:05	症状別 講義2 【14:05～15:30】 85分	15:30	15	15:30	質疑応答【15:30～15:45】 15分	15:45	確認テスト 10分	15:55	16	16:55	症状別 ケーススタディ2 【15:55～16:55】 60分	17:00		自己評価・アンケート記入・修了証配布【16:56～17:00】 5分
実務者 研修タイムスケジュール																																												
時間	研修内容																																											
10	9:45	事務局連絡【9:45～9:55】 10分																																										
	9:55																																											
11	10:15	医薬品の適正使用・安全対策 20分																																										
	11:40																																											
12	11:40	症状別 講義1 【10:15～11:40】 85分																																										
	11:55		質疑応答【11:40～11:55】 15分																																									
	12:05		確認テスト 10分																																									
13	13:05	症状別 ケーススタディ1 【12:05～13:05】 60分																																										
		昼食 【13:05～14:05】																																										
14	14:05	症状別 講義2 【14:05～15:30】 85分																																										
	15:30																																											
15	15:30	質疑応答【15:30～15:45】 15分																																										
	15:45		確認テスト 10分																																									
	15:55																																											
16	16:55	症状別 ケーススタディ2 【15:55～16:55】 60分																																										
	17:00																																											
	自己評価・アンケート記入・修了証配布【16:56～17:00】 5分																																											

e ラーニング研修 内容詳細

コンテンツ	<p>1. 登録販売者に必要な全般情報</p> <p>(1) 医薬品相談応需学習</p> <p>主な指定第二类医薬品の適正使用と相談応需及び類似製品について</p> <p>(2) 基礎学習</p> <p>法令に基づく登録販売者の職務と第二类・第三類医薬品の基礎知識、第一類医薬品の基礎知識について</p> <p>2. 登録販売者に必要な最新情報</p> <p>(1) 新規製剤等の適正使用</p> <p>各製薬メーカーから発売された新製品を具体例とした適正使用について</p> <p>(2) 相談応需</p> <p>類似製品の違いや、添付文書記載事項について</p> <p>(3) 最新情報</p> <p>リスク区分の変更や使用情報の注意改定等について</p>
修了評価	ウェブ上で6時間学習し、理解度考査(全4回)を実施し、満点で修了証を交付する

研修講師

氏名	右遠 克典
現所属/役職	一般社団法人イオン・ハピコム人材総合研修機構
研修担当講義	登録販売者のための薬事等情報

氏名	相馬 明弘
現所属/役職	ロート製薬㈱ 大阪学術チーム
研修担当講義	「目薬」「胃薬」に関わる知識と症例検討


氏名	穂積 栄
現所属/役職	ライオン㈱ ヘルス&ホームケア事業本部 学術情報部
研修担当講義	「目薬」「口腔用薬」に関わる知識と症例検討

修了証 見本


◆ ガイドラインで示されている修了証の必要記載項目を含む修了証

- ・実施機関名
- ・研修の時間数
- ・実施日
- ・修了認定の証
- ・研修名称
- ・修了者の氏名
- ・研修の形式(集合・通信の別)

【実物大 集合研修用】

		登録販売者研修修了証	
殿			
あなたは当機構の実施する登録販売者実務者研修 (外部機関研修)を修了されましたので本証を授与致します。			
研修番号: A-012 014			
受講日: 2012年 9月14日			
受講会場: ヘルサール西新宿			
研修形式: 集合研修		研修時間: 6 時間	
研修名称: 登録販売者実務者研修(外部研修)			
一般社団法人			
イオン・ハビコム人材総合研修機構 代表理事 澤 宏紀			
〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1-5-1 TEL:043-212-6718			

【実物大 通信研修用】

		登録販売者研修修了証	
殿			
あなたは当機構の実施する登録販売者実務者研修 (外部機関研修)を修了されましたので本証を授与致します。			
研修番号: A-012 000			
受講期間: 2012年4月～2013年3月31日 の期間中			
研修形式: 通信研修		研修時間: 6 時間	
研修名称: 登録販売者実務者研修eラーニング研修			
発行日: 年 月 日			
一般社団法人			
イオン・ハビコム人材総合研修機構 代表理事 澤 宏紀			
〒261-8515 千葉県美浜区中瀬1-5-1 TEL:043-212-6718			

一般社団法人

イオン・ハピコム
人材総合研修機構

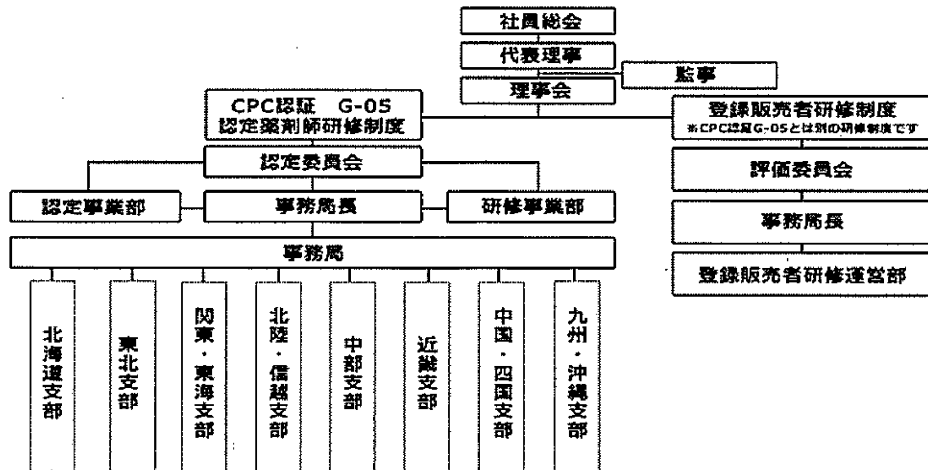
登録販売者研修 概要

- 資料 1 登録販売者研修 実施体制
- 資料 2 登録販売者研修制度 実施要領
- 資料 3 2018 年度 登録販売者研修 実績

登録販売者研修 実施体制

【資料1】

1. 組織図



2. 各組織の役割

(1) 教育、学術、消費者等の参画

①研修制度 評価委員会

外部有識者から構成され、登録販売者研修の専門性・客観性・公正性を確保するために、研修の企画、運営、形式、内容、質、時間、修了証交付等について審議し決定する。

評価委員氏名	略 歴
矢野 眞吾	千葉大学名誉教授
津田 正明	富山大学 名誉教授 学術顧問
牧村 瑞恵	元日本大学医学部研究所 教授
山村 重雄	城西国際大学薬学部 教授
後藤 輝明	(株)ツルハHD取締役兼常務執行役員
本橋 勝	ウエルシア薬局(株)総務本部リスク管理部
田村 浩	イオンリテール(株)ファーマシー商品部担当部長

②監事

消費科学センター代表理事 大木 美智子氏に、監事として研修の実施体制の客観性を確保するため、消費者の視点より幅広い助言を頂く。

(2) 登録販売者研修 運営部

「研修制度評価委員会」の決定に基づき、登録販売者研修の運営、修了証の交付、受講管理等の実務を行なう。

(3) 研修支援組織

当研修機構の「研修制度評価委員会」が認めた研修運営の補助組織で、登録販売者研修運営部の下で、研修運営にあたる。

【資料 2】

一般社団法人イオン・ハピコム人材総合研修機構

登録販売者研修制度 実施要領

第1章 総則

第1条 一般用医薬品を販売する登録販売者は、医薬品の適正使用と安全性確保のための情報を購買者に提供することによって地域社会の保健と疾病の予防に寄与しなくてはならない。そのためには、医薬品をはじめ保健と疾病に関する知識を有するとともに、最新の知識を継続的に修得していく必要がある。一般社団法人イオン・ハピコム人材総合研修機構（以下、当研修機構と略す）は、医薬品にかかわる研修提供を通じて、地域社会に貢献できる登録販売者の育成を目的とする。

第2条 前条の目的を達成するために、当研修機構は登録販売者研修制度を施行する。

第2章 研修制度評価委員会

第3条 研修制度評価委員会を構成する委員は理事会の議を経て選出され、委員長は委員の互選によって選任される。研修制度評価委員会の組織・構成、運用は研修制度評価委員会内規に定める。

第4条 研修制度評価委員会は研修会などの企画・運営、受講者の終了評価など研修事業全般について議決する。

第5条 委員の任期は原則2年とし、ただし、再任を妨げない。

第6条 研修制度評価委員会は四半期に1回および必要に応じて開催する。

第3章 研修会の開催

第7条 研修会の運営は、研修制度評価委員会の第4条の決議に基づき、当研修機構の登録販売者研修運営部が主体となっていく。

第8条 研修会の一部を研修支援組織に委嘱することができる。

第9条 研修支援組織は以下の要件を満たさなければならない。

- (1) 薬局・医薬品販売業を営んでいる企業、または医薬関連の団体で、地域医療・保健に貢献している組織であること。
- (2) 教育研修に適切な人材が在籍し、専門性・客観性・公正性が担保できる組織であること。
- (3) 過去に研修開催実績があること。

第10条 当研修機構の研修支援組織となる組織は、定められた申請書を研修制度評価委員会に提出する。

第11条 研修制度評価委員会は申請書に基づき審査し、第9条の要件を満たすと認められた研修支援組織は研修会の一部を担当することができる。

第4章 研修の種類と内容

第12条 提供する研修は集合研修とeラーニング研修とする。

第13条 研修制度評価委員会は集合研修及びeラーニング研修の企画に当たっては、次の項目を含めるものとする。

- (1) 医薬品に共通する特性と基本的な知識
- (2) 人体の働きと医薬品
- (3) 主な一般用医薬品とその作用
- (4) 薬事に関する法律と制度
- (5) 一般用医薬品の適切な使用と安全対策
- (6) リスク区分の変更があった医薬品
- (7) 登録販売者として求められる理念・倫理・関連法規
- (8) その他(1)～(7)以外の登録販売者に必要と考えられる事項

第14条 研修の講義および演習を担当する講師は相当の知識、技能、実務経験を有し支援組織を含め広い分野から集め、研修制度評価委員会が認めた者とする。

第5章 研修の修了評価

第15条 集合研修の修了評価は次の要件を満たしていることとする。

- (1) 講義への出席率が良好であること。
- (2) 研修受講評価表に自己評価が記載されていること。
- (3) 研修受講アンケートを定められた通り提出していること。
- (4) 理解度考査の結果に対するフィードバックを受けること。

第16条 eラーニング研修の修了評価の要件は、研修制度評価委員会が定めた理解度考査合格基準に達していることとする。

第17条 前条の終了評価の要件を満たしている受講者に対して、修了証明書を交付する。

第6章 受講記録の管理

第18条 研修会ごとの参加者氏名、および必要事項は研修終了日から6年間、当研修機構登録販売者研修運営部において保存管理される。

第7章 本実施規則の変更

第19条 本実施規則は当研修機構理事会の承認を経て変更することができる。

付則

1. 本実施規則は、平成24年4月1日より施行する。

2018年度 登録販売者外部研修実績 【資料3】

1. 集合研修 12都市 46回の実施で受講者数 3,328名

NO	エリア	開催都府県	開催都市	開催日	曜日	会場	テーマ	受講者数	
1	東北	秋田	秋田	2018年7月5日	(木)	アキタスクエア	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	34	
2		秋田	秋田	2018年10月4日	(木)	アキタスクエア	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	35	
3		岩手	盛岡	2018年7月6日	(金)	アイーナいわて県民情報交流センター	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	57	
4		岩手	盛岡	2018年10月5日	(金)	アイーナいわて県民情報交流センター	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	67	
5		宮城	仙台	2018年6月28日	(木)	仙都会館	「禁煙補助剤」「外用消炎鎮痛薬」に関する知識と症例検討	77	
6		宮城	仙台	2018年6月29日	(金)	仙都会館	「禁煙補助剤」「外用消炎鎮痛薬」に関する知識と症例検討	63	
7		宮城	仙台	2018年11月8日	(木)	仙都会館	「目薬」「胃薬」に関する知識と症例検討	62	
8		宮城	仙台	2018年11月9日	(金)	仙都会館	「目薬」「胃薬」に関する知識と症例検討	63	
9	北陸	富山	富山	2018年9月6日	(木)	富山県中小企業センター	「皮膚薬」「小児薬」に関する知識と症例検討	32	
10		富山	富山	2018年9月7日	(金)	富山県中小企業センター	「皮膚薬」「小児薬」に関する知識と症例検討	35	
11		石川	金沢	2018年9月27日	(木)	金沢勤労者プラザ	「目薬」「胃薬」に関する知識と症例検討	45	
12		石川	金沢	2018年9月28日	(金)	金沢勤労者プラザ	「目薬」「胃薬」に関する知識と症例検討	53	
13		石川	金沢	2018年11月1日	(木)	金沢勤労者プラザ	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	62	
14		石川	金沢	2018年11月2日	(金)	金沢勤労者プラザ	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	44	
15	関東	埼玉	さいたま	2018年8月15日	(金)	埼玉県県民健康センター	「胃薬」「鎮痛薬」に関する知識と症例検討	48	
16		埼玉	さいたま	2018年9月21日	(金)	埼玉県県民健康センター	「胃薬」「鎮痛薬」に関する知識と症例検討	57	
17		埼玉	さいたま	2018年10月26日	(金)	埼玉県県民健康センター	「漢方薬～風邪/高齢者の症状～」に関する知識と症例検討	57	
18		埼玉	さいたま	2019年2月1日	(金)	埼玉県県民健康センター	「漢方薬～風邪/高齢者の症状～」に関する知識と症例検討	46	
19		東京	市ヶ谷	2018年6月13日	(水)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	「外用消炎鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	102	
20		東京	市ヶ谷	2018年7月18日	(水)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	「外用消炎鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	120	
21		東京	市ヶ谷	2018年10月12日	(金)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	「外用消炎鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	123	
22		東京	市ヶ谷	2018年11月21日	(水)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	127	
23		東京	市ヶ谷	2019年1月11日	(金)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	110	
24		東京	市ヶ谷	2019年2月22日	(金)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	66	
25	千葉	千葉	千葉	2018年6月1日	(金)	幕張会議室	「皮膚薬」「小児薬」に関する知識と症例検討	70	
26		千葉	千葉	2018年7月25日	(水)	幕張会議室	「皮膚薬」「小児薬」に関する知識と症例検討	75	
27		千葉	千葉	2018年11月16日	(金)	幕張会議室	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	68	
28		千葉	千葉	2019年2月27日	(水)	幕張会議室	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	43	
29		東海	愛知	名古屋	2018年7月12日	(木)	imy会議室	「目薬」「殺虫剤」に関する知識と症例検討	113
30			愛知	名古屋	2018年7月13日	(金)	imy会議室	「目薬」「殺虫剤」に関する知識と症例検討	128
31	愛知		名古屋	2018年8月3日	(金)	imy会議室	「目薬」「殺虫剤」に関する知識と症例検討	86	
32	愛知		名古屋	2019年1月17日	(木)	imy会議室	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	107	
33	愛知		名古屋	2019年1月18日	(金)	imy会議室	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	119	
34	愛知		名古屋	2019年2月7日	(木)	TKPガーデンシティPREMIUM名駅桜通口	「鎮痛薬」「睡眠改善薬」に関する知識と症例検討	90	
35	近畿	大阪	大阪	2018年6月21日	(木)	TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター	「鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	107	
36		大阪	大阪	2018年6月22日	(金)	TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター	「鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	102	
37		大阪	大阪	2018年8月2日	(木)	TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター	「鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	92	
38		大阪	大阪	2019年1月24日	(木)	TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター	「胃薬」「鎮痛薬」に関する知識と症例検討	106	
39		大阪	大阪	2019年1月25日	(金)	TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター	「胃薬」「鎮痛薬」に関する知識と症例検討	105	
40		大阪	大阪	2019年2月8日	(金)	TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター	「胃薬」「鎮痛薬」に関する知識と症例検討	71	
41		兵庫	姫路	2018年10月18日	(木)	姫路じばさんビル	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	48	
42		兵庫	姫路	2018年10月19日	(金)	姫路じばさんビル	「風邪薬」「便秘薬・痔用薬」に関する知識と症例検討	46	
43	沖縄	兵庫	姫路	2019年2月14日	(木)	姫路商工会議所	「鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	46	
44		兵庫	姫路	2019年2月15日	(金)	姫路商工会議所	「鎮痛薬」「ビタミン」に関する知識と症例検討	41	
45		沖縄	那覇	2018年6月7日	(木)	沖縄産業支援ホール	「皮膚薬」「小児薬」に関する知識と症例検討	36	
46		沖縄	那覇	2018年6月8日	(金)	沖縄産業支援ホール	「皮膚薬」「小児薬」に関する知識と症例検討	44	

受講者合計 3,328

2. e-ラーニング研修

受講者数 645名、修了者 527名 修了率 81.7%

以上